

令和3年9月15日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

6年生 体育科



6年生の体育科の学習では、校庭でハードル走を行いました。爽やかな秋晴れの中、子供たちは思い思いに体を動かしていました。場や用具の準備では、全員が素早く行い、スムーズに活動に入ることができていました。授業の前半は、前回決めた自分の課題に対して、3人組でアドバイスをし合ったり、確認し合ったりしました。友達がハードルを走り越す様子を横から観察し、「抜き足がしっかりと曲がっていてよかったと思う。」「もっと体を前に倒した方が、フォームがきれいになると思うよ。」などと適切にアドバイスする姿が見られました。また、後半のチャレンジタイムでは、自己の課題を解決するために、場や用具を選んで練習しました。何回も走り込みながら、ハードルをリズムよく走り越そうと練習をしている児童や、周りにいる友達と相談しながら、よりよい走り方について考える児童の姿が見られました。声を掛け合いながら、お互いのタイムを計測し、記録が縮んだことを喜びあっている児童の姿も見られました。

今年度の協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各教室に分散して協議会を実施しています。協議会后、帝京大学教育学部教育文化学科教授 高田彬成先生より、本日の授業の成果や課題、体育科の授業の組み方や、体育の授業で目指す児童の姿など、幅広くご指導いただきました。体育を「楽しい」と感じられる児童が一人でも増えるよう、今日の学びを明日からの授業に生かしていきたいと思います。